

令和 5年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市生涯学習／女性センター	所管課	男女共生・生涯学習推進課／文化芸術課
所在地	岐阜市橋本町一丁目10番地23		
指定管理者名	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	233,781,000円(令和5年度)		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進するとともに、男女共同参画社会の実現を図るため		
施設概要	鉄骨造高架下3階建て 延床面積 11,555㎡(併設施設含む) 大研修室、中研修室、研修室50、研修室30、小研修室1～4、和室研修室1・2、音楽スタジオ大・小1・2、パソコンルーム、クラフト室、交流サロン、情報コーナー、生涯学習・ボランティア相談コーナー、市民活動ルーム、平和資料室、こどもの部屋、展示コーナー、あんしんつながりステーション、駐車場		

●利用状況

	R05 上半期	R04 下半期	R04 上半期	R03 下半期	R03 上半期	
利用者数(単位:人)	59,377	58,933	51,051	42,597	22,936	
各室稼働状況(%)	大研修室	75.7	75.9	78.5	68.3	61.2
	中研修室	87.0	88.2	85.3	71.0	66.9
	研修室50	81.9	85.9	87.6	68.0	62.9
	研修室30	90.4	90.0	85.3	75.8	70.9
	小研修室1	94.4	98.2	94.4	91.4	87.0
	小研修室2	85.9	90.6	84.2	74.1	67.7
	小研修室3	92.1	87.6	79.1	74.1	63.7
	小研修室4	91.5	95.3	94.9	85.0	78.2
	和室研修室1	13.0	29.4	16.9	8.5	8.8
	和室研修室2	73.4	82.9	70.1	64.6	55.6
	音楽スタジオ大	73.4	64.7	63.8	58.1	54.8
	音楽スタジオ小1	72.9	67.1	66.1	66.6	56.4
	音楽スタジオ小2	0.0	0.0	0.6	0.6	1.6
	パソコンルーム	71.8	78.8	74.0	63.9	66.9
クラフト室	61.6	64.1	54.2	45.5	49.1	

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用が行われている。 ②適切な運用が行われている。 ③ホームページ、広報ぎふ、各種情報誌、ラジオ、SNSなどを利用して、主催事業や活動内容の情報提供を推進している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聞いて、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・提案事業	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①生涯学習へのきっかけと現代的課題の解決に向けた学習機会の充実 ②地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の養成 ③生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信 ④生涯学習・ボランティアに関する相談業務及び活動支援 2. 男女共同参画推進業務 ①学習機能…男女共同参画に関する事業の企画及び実施 ②情報機能…男女共同参画に関する情報の収集・提供 ③交流機能…市民や団体等のネットワークの形成及び、育成・交流 ④相談機能…男女共同参画に関する女性相談業務の実施 3. 市民芸術文化振興業務 ①参加・参画の促進 ～市民一人ひとり、誰もが主役の場づくり～ ②文化芸術を担う人材の育成、顕彰 ～人づくりと活躍の場づくり～ ③文化芸術施設の充実 ～誰もが使いやすい拠点づくり～ ④文化財・伝統文化の継承や活用 ～「岐阜」を伝える絆づくり～ ⑤文化芸術を生かしたまちの活性化 ～活力に溢れた地域づくり～ ⑥協働による文化芸術の推進 ～みんなで文化芸術を育てる社会づくり～	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①ハートフルレクチャー2講座開催、103人受講。各種団体(岐阜市埋蔵文化財調査事務所、岐阜市立女子短期大学)との連携講座2講座開催、137人受講。ITコラボレーター会と協働のパソコン講座第1、2期開催、227人受講。 ②ボランティア講座1講座開催、49人受講。パソコン指導者養成講座1講座開催、122人受講。市民自主講座20講座開講。市民自主講座開講支援事業開催、20人参加。 ③地域貢献事業2イベント開催、にぎわい創出事業3公演を開催、1,600人参加。生涯学習・ボランティア通信誌の発行(Vol.91、92) ④市民活動ルームを運営(延べ1,853人利用)。生涯学習・ボランティア相談コーナーの運営(528件の相談、75件のボランティアコーディネート)。広報ぎふボランティア通信12回掲載。 2. 男女共同参画推進業務 ①お出かけお迎え！男女共同参画出張セミナー、わたしも輝く！女性のエンパワーメント講座の2事業を開催、延べ167人受講。 ②HP、インスタグラム、岐阜市女性センターYouTubeチャンネルによる情報発信、男女共同参画関連図書展示を実施。 ③男女共同参画つながり創出サロン、男女共同参画週間事業にて講演会を開催。 ④面接・電話相談を開催、延べ相談件数803件(面接相談：127件、電話相談：676件)。あんしんつながりステーションを開設、延べ相談件数297件(面接相談：178件、電話相談：113件、メール相談：6件) 3. 市民芸術文化振興業務 ・岐阜市民文化祭の開催【①、②、③、④】 市民文化祭(美術展覧会・芸術祭・文芸祭)の開催に向けての準備・調整。美術展覧会では展覧会の開催を告知する企画展を新規に開催。 ・岐阜市芸術文化協会との連携【①、②、④、⑥】 リレートーク、まちかどコンサート、広報紙の発行(7月)や岐阜子ども文化クラブ(2日間)を実施。 ・文化事業助成(岐阜市民芸術文化・スポーツ基金)【②、⑤、⑥】 上期応募10件中内定7件、下期応募10件中内定8件を選定。 ・岐阜市芸術文化奨励賞【②、⑥】 下半期に実施予定。
施設管理	日常点検(保全)業務 ①施設管理 ②警備業務 ③清掃・受付 ④駐車場管理 ⑤ごみ収集 ⑥消防設備点検(自主点検) ⑦不審者、危険物(自主点検) 法定点検業務 ①消防設備点検(年2回) ②空気環境測定(年6回) ③飲料水水質検査(残留塩素測定)(週1回) // (16・13項目)(年2回) // (12項目)(年1回) ④貯水槽清掃、消毒(年1回) ⑤排水設備清掃(汚水槽含む)(年1回) ⑥ネズミ・昆虫等防除(年2回) ⑦家用電気工作物保安管理(年6回) ⑧昇降機保守点検(年1回) ⑨自動車用エレベーター保守点検(年1回) ⑩建築設備点検(年1回) ⑪建築物点検(3年に1回) 定期点検業務 ①昇降機保守点検(年12回) ②自動車用エレベーター保守点検(年12回) ③空調設備(総合)保守点検(年2回) ④空調設備(GHP)保守点検(年1回) ⑤自動扉保守点検(年4回) ⑥駅西駐車場サービス券機保守点検(年1回) ⑦駐車場料金精算設備保守点検(年3回) ⑧パソコン及び周辺機器保守点検(年4回)	日常点検(保全)業務 ①良好 ②良好 ③良好 ④良好 ⑤良好 ⑥特記事項なし ⑦特記事項なし 法定点検業務 ①7/25に実施 ②5/17、7/19、9/20に実施 ③毎週水曜日に実施 7/12に実施 9/13に実施 ④下半期に実施 ⑤下半期に実施 ⑥9/8～22に実施 ⑦5/18、7/13、9/26に実施 ⑧下半期に実施 ⑨下半期に実施 ⑩下半期に実施 ⑪下半期に実施 定期点検業務 ①保全点検：4/25、7/25に実施 リモート点検：毎月実施 ②4/25、5/30、6/27、7/25、8/29、9/26に実施 ③6/27に実施 ④6/27に実施 ⑤6/27、9/26に実施 ⑥下半期に実施 ⑦7/25に実施 ⑧5/30、8/29、9/26に実施

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。 ②施設利用者への対応など、ノウハウを生かして適切に修繕・整備を行っている。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例、岐阜市個人情報保護条例施行規則及び(公財)岐阜市教育文化振興事業団個人情報保護規定により適切に実施されている。 ②危機管理マニュアルを整備するとともに、事故防止対策の実施、防犯対策の実施、防火対象物点検報告特例認定を取得するなどを行っている。 ③関係法令を順守し、運営されている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	実施期間: 4/7～13、5/16～22、6/3～9、7/8～14、8/16～22、9/9～15 アンケート総数: 281件	
利用者アンケートの実施結果	○利用した部屋は 大研修室 7.5%、中研修室 6.4%、研修室50 5.0%、研修室30 12.1%、小研修室1 16.8%、小研修室2 7.5%、小研修室3 9.6%、小研修室4 11.0%、和室研修室1 3.2%、和室研修室2 6.0%、音楽スタジオ大 6.4%、音楽スタジオ小1 4.6%、音楽スタジオ小2 0%、クラフト室 3.9%、パソコンルーム 0% ○スタッフの対応について 満足 79.4%、やや満足 10.0%、ふつう 10.7%、やや不満 0.0%、不満 0.0% ○施設や設備の管理状況(整理整頓、壊れた個所の有無など) 満足 71.5%、やや満足 16.0%、ふつう 10.7%、やや不満 1.8%、不満 0.0% ○全体的な満足度 満足 75.8%、やや満足 15.3%、ふつう 8.2%、やや不満 0.7%、不満 0.0%	
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵がかけにくい。(小研修室1) →確認させていただきましたところ、鍵がかけ辛い状態となっております。現在は快適にご利用いただけるよう、調整しました。 ・音響が聴きづらい。(大研修室) →設定を確認し、調整しました。音源の種類によっては再調整が必要な場合がありますので、使用時に聴きづらさを感じた際はスタッフにお知らせください。 ・使用前から机が乱雑でした。他の利用者は、使用後に机を整頓しないのでしょうか？(小研修室3) →すべての利用者の方に、退室時に部屋を原状復帰いただくようお願いしております。机の位置の著しい乱れや表示と異なる配置の場合や、大きな破損や汚れなどにお気づきの際はスタッフにお知らせください。 ・Wi-Fiが使えるようにしてほしい。(研修室30) →研修室30は、Wi-Fiではなく、有線でインターネットを利用いただける環境となっております。現在は、一部の研修室(大研修室・中研修室・研修室50)で、Wi-Fiの利用が可能です。くわしくは、下記URL「貸室のご利用」をご確認ください。 https://gikyobun.or.jp/heartful/riyou/ ・エアコンが26℃以下に下げられないのが唯一難点です。24℃ぐらいだと助かります。(和室研修室1) ・窓もなく、暑くなるので、エアコンは26℃以下にできるようにしてほしい。(音楽スタジオ小1) →昨今の電気代高騰により、当施設も館内の節電に努めております。熱中症の危険性が高くなる体育ルームや子どもの部屋を除き、館内の冷房温度を26℃を下限として設定しています。ご不便をお掛けして申し訳ございませんが、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いたします。 ・申込み手続きが郵送・メールやインターネットでできるとうれしいです。是非検討してください。(小研修室1) →岐阜市公共施設予約システムの利用登録をすると、インターネット上で予約ができます。ただし、営利を目的とする団体は登録できませんので、ご了承ください。登録希望の際は、受付窓口までお申し付けください。 公共施設予約システム利用案内: https://www.city.gifu.lg.jp/info/shisetsu/1009590/1009592.html ・高齢者の使える施設をもっと増やして欲しい。高齢者が語り合える場所が欲しい。(和室研修室2) →貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見は、岐阜市へ報告させていただきます。なお、生涯学習・ボランティア相談コーナーでは、「学びたい」「活動したい」「仲間をつくりたい」などの様々な相談にも応じています。お気軽にお立ち寄りください。 ・夜に自動販売機前で騒いでいる女子高校生がうるさい。(小研修室1) →館内を警備員が随時巡回いたしておりますが、ご利用の際にお気づきのことがございましたら、受付までご連絡ください。 ・机の汚れが目立つ時がある。(音楽スタジオ大) →すべての利用者の方に、退室時に部屋を原状復帰いただくようお願いしております。机の位置の著しい乱れや表示と異なる配置の場合や、大きな破損や汚れなどにお気づきの際はスタッフにお知らせください。 	

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	岐阜市生涯学習／女性センターの運営上の基本方針	・所管の各課と連携を図りながら、岐阜市の生涯学習推進及び男女共同参画推進の拠点施設として、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	A	A	A
		平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・平等利用を確保するための業務を行っているか ・チェック機能(アンケート)等を実施しているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
	区分評価					A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	生涯学習推進業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、現代的課題に関する講座等の学習機会の提供、啓発イベントの実施、学習情報の収集・提供、学習相談等の業務を行っているか	S	S	S
		男女共同参画業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、男女共同参画に関する講座等の学習機会の提供、情報の収集・提供、女性相談の実施、男女共同参画を推進する市民活動団体・グループとの交流・連携などの事業を行っているか	S	A	A
		ボランティア等の市民活動の支援業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、ボランティア養成講座の実施、啓発イベントの実施、ボランティアや市民活動団体の交流、ボランティア相談業務等の事業を行っているか	A	A	A
		市民芸術文化振興業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、岐阜市民文化祭の開催、文化助成事業、文化団体等の交流・支援等の事業を行っているか	S	S	S
		貸館業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・生涯学習、男女共同参画、文化芸術活動の場として提供されているか	A	A	A
		生涯学習センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・生涯学習センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	A	A	A
		女性センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・女性センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用者を増やすための方策を考えているか	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・接遇等の職員研修が実施されているか ・適正な人材を配置しているか	A	A	A
区分評価					A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費縮減の具体的方策	・収支予算と実績とは大きく離れていないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	S	S	S
		スタッフ配置の妥当性	・各係の職員の配置を工夫し、閉館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
区分評価					S	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	・より良いサービスを提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができていないか ・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか。	A	A	A
		リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができていないか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	S	S	S
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・常に市民協働推進部と情報交換しながら、市の施策にあった事業が展開しているか	A	A	A
区分評価					A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元での社会活動の参加及び地元への貢献に関すること	・定期的に施設周辺の清掃を実施しているか ・周辺自治会と連携して、地元のまちづくり活動に協力しているか	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・長良川大学へ協力しているか ・ハートフルスクエアーG内の他施設と協力して、駅周辺の賑わいの創出に努めているか	S	A	A
	区分評価					A

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組み
に対する評価

●生涯学習／女性／センター

指定管理仕様書・事業計画書及び市の方針に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設の運営・管理と事業展開を行った。

<施設管理>

- ・事故防止対策として、定期点検の他、日常的に施設・設備の点検を行い、**危険箇所や要修繕箇所の早期発見と、迅速な対応**を実施した。
 - ・消防設備修繕
 - 排煙口取替、非常用照明バッテリー取替、誘導灯バッテリー取替
 - ・空調設備修繕
 - ファッションライブラリー系統室内機不良部品取替、大研修室系統室外機不良部品取替
 - ・給排水衛生設備
 - 大便器ピストンバルブ取替、汚水ポンプ詰まり修繕
 - ・照明設備
 - 器具不良箇所のLED化(共用部、図書館分館、生涯学習・ボランティア相談コーナー、音楽スタジオ大)
 - ・その他
 - 駐車場出入口 段差解消
 - 2階自由通路 防鳥ネット追加設置
- ・光熱水料費の高騰に加え、記録的な猛暑の中、**利用者へ協力を求め**、以下のような取組みを行うことで、**ガス・電気の使用量を削減**することができた。
 - ・共用部を含め、各研修室等における**冷房時の設定温度範囲を制限**し、無駄なエネルギー消費を抑えるよう努めた。
 - ・各研修室の利用状況に応じて、利用前から部屋を冷やしておくなど、**効率的な空調機器の使用**に努めた。
 - ・電気使用状況をリアルタイムで監視する電力デマンド監視装置を活用し、電気設備の効率的な使用に努めるとともに、必要のない場所のこまめな消灯を行った。
 - ※令和5年度上半期電気使用量実績： 313,657kw (対予算計上使用量 81.7%)
 - ※令和5年度上半期空調用ガス使用量実績： 40,042m³ (対予算計上使用量 85.3%)
- ・新型コロナウイルス感染症の「5類」移行後も、利用者がそれぞれの希望に応じた感染対策ができるよう、対策グッズ(消毒セット、検温機、扇風機など)を引き続き設置した。
- ・各種安全マニュアルに基づき、安全・安心な施設運営に努め、今期も大きな事故やケガなどはなかった。

<リスク対応>

- ・防犯対策として、防犯カメラでの監視や警備員の巡回に加え、職員が日常的に館内を巡回した。また、**不審者情報等をハートフルスクエア-G全体で共有**し、連携して利用者の安全確保に努めた。
 - 事例：・女性センターへの迷惑行為・不当要求行為
 - ・トイレでの閉じこもり
 - ・便器へ異物の投入
 - ・自由通路での喫煙等迷惑行為
- ・危機管理の上で、夜勤では不審者対応として必ず男性職員を配置した。また、日勤でも副所長以上の職員を必ず1人は配置し緊急事態に備えた。
- ・**警察署と連携**を取り、不審者に対して職務質問や警戒体制を敷いていただくことで、**事故を未然に防ぐ**ことができた。
- ・JR岐阜駅に隣接する施設として、南海トラフ地震発生を想定し、**岐阜市帰宅困難者対策マニュアルを検証**した。また、情報伝達訓練として、**県、岐阜市、一時滞在施設、交通機関それぞれの連絡体制の確認**を行った。
- ・“応急手当協力事業所”登録施設として、職員がAEDを的確に使用できるよう普通救急救命講習を受講し、施設内のみならず、駅周辺での急病人や負傷者の応急手当や救急隊到着までの応急措置を行っている。
- ・防災士の資格を有する職員を中心に、緊急時、災害時の対応についてマニュアルを基に共通理解を図った。消防設備の適切な管理や消防避難訓練等により**引き続き消防特例認定**を受けることができた。
- ・個人情報保護・情報セキュリティ研修を受け、個人情報保護担当者を配置し、情報漏えいや不適切な情報発信が起きないよう**個人情報管理の徹底**を図った。新たなメール誤送信対策として、従来のメールセキュリティ対策ソフトウェアに加え、**送信前の二重確認を確実に行うことができるソフトウェアを導入**した。
- ・暴力団対策法に基づく不当要求防止責任者選任事務所の表示を受付に掲げ、反社会勢力に対しての姿勢を示した。

<その他>

- ・快適な公共空間を提供するため**アダプト・プログラム**に参加し、ハートフルスクエア-G全体で施設周辺の美化に努めた。
- ・館内の**賑わい創出の一環として、中央階段前の吹き抜け部分に季節や行事に合わせた装飾**を行った。
- ・**岐阜大学全学共通教育科目「生涯学習概論Ⅱ」履修の学生14名**に、生涯学習センターの役割・事業内容を講義し、**生涯学習の実践について学ぶ機会**を提供した。
- ・岐阜市の**学生実習生受入制度(インターンシップ)**に基づき、2名の大学生に**就業体験の機会**を提供し、きめ細かく指導・支援を行った。
- ・**JR岐阜駅周辺施設と連携**し、「小学生のための社会に役立つお仕事体験」として夏休みに小学生11名を受入れ、公共施設の役割を学ぶ機会を設けた。

<実施事業>

●生涯学習センター

指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術推進基本計画」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、岐阜市における生涯学習の啓発・推進に努めた。生涯学習センターの評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。

◇生涯学習係

コロナ禍により鈍化した生涯学習の機運を高めるため、学習する楽しさを感じられる講座や地域課題に係わる講座を企画・実施した。また、感染症対策が緩和されていく中で、参加者の安全・安心を考慮しながら状況に応じた対策を講じた。

・生涯学習へのきっかけと現代的課題・地域課題の解決に向けた学習機会の充実

・ハートフルレクチャー

「政宗や家康も鑑賞した花火の歴史をたどる！」

ぎふ長良川花火大会実行委員会と協力し、4年ぶりに再開する長良川の花火大会への市民の関心を高めるために、花火の誕生から長良川花火大会に至る歴史を提供した。

「そば学大全～もつとそばをたのしむために～」

日本人に古くから愛されるそばについて、伝播の歴史やそば食文化の比較、栽培方法、アレルギーなど、多角的な学びを提供した。

・連携講座

「加納城～発掘調査から、その姿に迫る～」

岐阜市埋蔵文化財調査事務所との連携で実施。昨年度に実施した「関ヶ原の戦い 岐阜城最期の姿～発掘からひもとく岐阜城の姿～」の受講者から寄せられた「市内の城のことを知りたい」というニーズに応じて、加納城の発掘成果を学ぶ場を提供した。

「認知症の理解のために」

岐阜市立女子短期大学との連携で実施。また、岐阜市高齢福祉課と協力し、世界アルツハイマー月間に、認知症の基本的な症状や初期に見られる症状、当事者の心理状態を知り、認知症への理解を深める場を提供した。

展示「みんなで、健康寿命世界一を目指そう！～食生活改善普及運動&健康増進普及月間～」

岐阜市健康増進課との連携で実施。厚労省が推進する「健康寿命の延伸」に係わり、フレイルの予防・改善を目的に、「バランスの良い食事」「適度な運動」「生涯学習・ボランティアなどの社会参加」の情報を展示した。

・パソコン講座

パソコン技術を習得した市民による岐阜ITコラボレーター会と協働で実施。ワードやエクセル、パワーポイントなどの講座(12講座88回)を実施し、パソコンの基礎的な知識や技能を学ぶ場を提供した。

・地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の育成

・パソコン指導者養成講座

「パソコン指導カレレベルアップ！(全7回)」

地域で活動しているパソコン指導者や、これから指導を始めようとしている人を対象に、ワード・エクセル・パワーポイントの指導の仕方、セキュリティ対策の知識、指導者としての心構えなどを学ぶ場を提供し、市民講師としての活動を支援した。

・ボランティア講座

(中高生対象)「中高生の挑戦！～私から社会へ～(全2回)」

中高生を対象に、講演会「誰も取りこぼさない社会～子ども食堂の現状と課題～」と体験活動「パソコンを使用した点訳を体験しよう」ほか8種を提供し、岐阜市のボランティアの底上げに繋げた。

・市民自主講座開講支援事業

市民自主講座の開講を支援するために、「展示:岐阜市市民自主講座 開設講座紹介」を実施し、20講座の開講に繋げた。また、「開講講師説明会」を実施し、講師の不安の解消や、講師同士の交流の場を提供した。

・生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信

・地域貢献事業

「FC岐阜 岐阜市ホームタウンデー」

FC岐阜や岐阜市市民スポーツ課と協力し、チームのエンブレムが入った応援バッチを制作するブースを出展し、地元のイベントを盛り上げた。

・にぎわい創出事業

当館および岐阜駅周辺のにぎわいを創出するため、「第75回岐阜市美術展覧会 企画展『岐阜で活躍する美術家たち』」、「第20回岐阜子ども文化クラブ『ようこそ！ワクワクドキドキ 夏祭りだあ～！！～みんなで遊ぼう～』」、「第1回まちかどコンサート」を実施した。

・生涯学習・ボランティア活動に関する相談及び活動支援

・生涯学習・ボランティア相談コーナーでは、昨年度上半期と比べ、相談件数は112%(473→528)に増加した。また、コロナ5類移行後に活動を再開する活動者の不安に対し、きめ細やかな対応を心掛けた。(ボランティアコーディネート件数:75件)

・岐阜市地域情報システム「まなバンク」を制作・運営し、市民に対して岐阜市内で活動しているサークルや市民活動団体、市民講師の情報を公開し、生涯学習やボランティアなどの情報発信に努めた。

・「生涯学習・ボランティア通信誌」

vol.91、vol.92を発行し、「講座案内」に加えて、「講座レポート」や「活動レポート」を充実させ、講座や活動に参加できなかった市民に対して情報を共有している。

・「広報ぎふ ボランティア通信」

社会貢献活動をしている6名を取材し、広報ぎふボランティア通信欄で紹介することで、地域の社会貢献や福祉活動への関心を高めた。

今期の取組み
に対する評価

<p>今期の取組み に対する評価</p>	◇文化振興係
	・ 岐阜市民文化祭の開催
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岐阜市民芸術祭 演劇の部実施事業「ぎふ演劇シーズン2023」に8劇団が参加。親子を対象とした人形劇やろうあ者による劇など、幅広いスタイルの演劇が行われる。昨年に引き続き、キックオフイベントとして、パネル展示とトークイベントをぎふメディアコスモスで開催した。これに合わせ、事業と参加劇団のPR動画を作成し、キックオフイベントでの上映とYouTubeでの公開を行った。 SNSを活用した広報の取組として、インスタグラムとフェイスブックを活用。フェイスブックにおいては、関係する芸術分野のグループ掲示板に展覧会やコンサートの情報を掲載するなど、地域に拘らず多くの愛好者の目に留まる広報活動にも注力した。 ・ 岐阜市文芸祭 小・中学生の部では、第20回の記念事業として、新たに岐阜発祥の文芸ジャンル「狂俳」の部を設け、作品募集を実施。募集においては、狂俳の団体が市内外の学校へ出向き、地域学習のひとつとして、狂俳の歴史を学ぶとともに作品の制作に取り組んでもらえるように依頼するなど、直接的な広報に取り組んだ。次年度は作品の受付をWeb上から行えるよう関係機関と調整し準備を進めている。 ・ 岐阜市美術展覧会 美術展の新たな試みとして、関わりある美術家とその作品を紹介することを通じ、岐阜市美術展覧会の開催告知と市民の文化芸術への関心を高めるため、企画展「岐阜で活躍する美術家たち」を開催。観覧者数360名、投稿SNS閲覧数2,282名。
	・ 岐阜市芸術文化協会との連携
	<ul style="list-style-type: none"> ・ リレートーク 「狂俳発祥250年 ～連歌→俳諧→狂俳、座の文芸の継承～」 岐阜独自の展開をした座の文芸 狂俳の特徴を和歌、連歌、俳諧の文学史の面からと、江戸時代から続く神社仏閣での行燈祭や奉納額の民族文化について理解を深める場を提供した。 ・ まちかどコンサート 協会会員の岐阜県邦楽三曲会、現代邦楽会みさと笛、岐阜雅の会、ring-link-run(リン・リン・ラン)、Dance Creation RUKA、鳳川伎連による演奏会を開催し、当館および岐阜駅周辺のにぎわいを創出した。 ・ 子ども文化クラブ 協会会員と連携し、小中学生対象に17講座を開催及び自由参加型ワークショップ「ようこそ！ワクワク♥ドキドキ夏祭りだ～！！～みんなで遊ぼう～」を企画運営し、当館および岐阜駅周辺のにぎわいを創出した。
	・ 自主企画事業の実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化事業助成 文化事業助成では、上半期に7団体の活動に助成を実施。コロナ禍からの活動を再開する団体や、新たに活動を始めたサークルからの申請と助成がみられる。下半期には10団体の申請に対し、制度の趣旨に沿う事業であるか審議を行い、8団体への助成を決定した。
	●女性センター
	<p>指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に基づき事業を企画・実施。必要に応じて、所管課と協議を行いながら、岐阜市における男女共同参画社会の啓発・推進に努めた。 女性センターの評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。</p>
	・ 学習機能
<ul style="list-style-type: none"> ・ お出かけお迎え！男女共同参画出張講座 岐阜大学附属小中学校の総合学習の一環として、社会問題で「男女格差」について調べ学習を行っている9年生を対象に、男女共同参画社会の現状を伝え、自分たちがどのような意識をもって行動すればよいか学ぶきっかけとなる授業を行った。 生徒からは「外国にも目を向けて日本の男女問題についてさらに考えていきたい」「今まで自分が無意識に普通だと思っていたことが覆された感じがした」「男らしさ・女らしさよりも“その子らしさ”が尊重される世の中になって欲しい」など、新たな気づきや前向きな意見が多くあった。 ・ わたしも輝く！女性のエンパワーメント講座 「『わたし』を後回しにしない！生きづらさをほぐすセミナー」 相談業務を通して見えてきた現代的な女性の課題に焦点をあて、「生きづらさ」「私を後回しにしない」をテーマに講座を企画。「コミュニケーション編」と「あり方・きき方・伝え方編」とに分けて各3回コースで実施した。「生きづらさ」「私を後回しにしない」というワードに共感し、様々な理由で生きづらさを抱えている人、自分と向き合う時間を取ることができていない人から多くの関心を得ることができた。受講者からは「自分を見つめるきっかけができた」「自分の思考、話し方のクセについて振り返ることができた」「グループワークに苦手意識があったが、意見交流することで学びを深めることができた」など、満足度96%と高い評価を得た。 	
・ 交流機能	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ハートフルネットぎふ例会 男女共同参画社会の実現に向けて、女性センターを利用している市民団体を中心に、最新の話題や発信された情報を基に、会員同士意見交流を行っている。 上半期では、ジェンダーギャップをテーマに意見交換し、男女共同参画つながり創出サロンでの事業を企画した。 ・ 男女共同参画つながり創出サロン 「ジェンダーギャップ解消が地方を変える！」 「女子に選ばれる地方」(十六総合研究所提言書2022)に着目し、学習会を行った。地方のジェンダーギャップ再生産の仕組みや問題点、解消に向けた課題や提言を学んだことで、各団体において活動の見直しや新たな試みを考える機会となった。 ・ 男女共同参画週間事業 「SNS総フォロワー14万人越え、パレットーク編集長に聞く！ 漫画で解説！男らしさ・女らしさの価値観アップデート」 多様性を尊重する価値観が広がりつつある一方で、日本人特有の「こうすべき」という考え方はいまだに根強く残っていることから、「アンコンシャス・バイアス」をテーマにした講座を実施した。 受講者からは、「自分にも無意識の偏見があることに気付けた」「ジェンダーなどという言葉を使って他人を攻撃する場が社会でも多く見られる中で、今回の講座は性や年齢に関係なく、共に社会を変えていこう！という内容でとても良かった」など、日常の中で溢れている無意識の偏見について考える、貴重な講演会となった。また、SNSでの投稿数を増やしたり、大学への広報活動を行ったりしたことで「初めて当センター講座を受講した」人のうち約64%が10代～30代であった。 	

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報機能 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民への情報発信 X(旧ツイッター)を新たに開設し、Instagramと合わせてタイムリーな情報発信を心掛けた。また、大学などの教育機関等に出向き、多方面での広報活動に力を入れた結果、男女共同参画週間事業講演会においては、「初めて当センター講座を受講した」人のうち約64%が10代～30代であり、HPやSNS利用者など比較的若い世代の新規受講者を獲得することができた。HP・SNS発信件数は、昨年度比201%(79→159)に増加した。 ・ 相談機能 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話相談においては、昨年度比113%(597→676)に増加した。「女性と社会のつながりサポート事業」と連携しながら、より専門的な支援先へ繋げることができた。 ・ 専門相談の空き状況をタイムリーにSNSで発信することで、当日相談に来所される方が増えた。昨年度比105%(120→127)に増加した。特に健康相談においては、昨年度比360%(5→18)と大幅に相談者を増やすことができた。 ・ 複合的な相談に対して寄り添った支援ができるよう研修会に参加し、職員のスキルアップを図った。また、適切な支援先や関係機関に繋ぐため、職員全員が関係機関の専門性を周知するよう体制を整えた。 ・ 以前より男性からの問合せも多くあったことから、女性のみならず男性にも相談できる場所を紹介できるように「市役所各所の相談窓口一覧表」を作成し館内に掲示した。
<p>前回までの意見の取組み状況</p>	<p>生涯学習センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タイムリーな内容の講座や世相を反映した講座を実施するため、引き続き講座アンケートや市民の声に耳を傾けている。また、現代的課題解決に取り組む団体や施設と協力することで、講座の内容を充実することに努めた。 ・ 市内全体の生涯学習施設の情報を市民に提供するため、情報コーナーにおいて、市内外の生涯学習施設や大学などで行われる講座やイベントのチラシを収集し、配架している。また、岐阜市地域情報システム「まなバンク」を制作・運営し、市民に対して岐阜市内で活動しているサークルや市民活動団体、市民講師の情報を公開し、生涯学習やボランティアなどの情報発信に努めた。 ・ 講座に参加できなかった市民に対して情報を提供するため、「生涯学習・ボランティア通信誌」の「講座レポート」の充実に努めた。 ・ 芸術祭においては、SNSを活用した広報の取組として、Instagramとフェイスブックを活用。フェイスブックにおいては、関係する芸術分野のグループ掲示板に展覧会やコンサートの情報を掲載するなど、地域に拘らず多くの愛好者の目に留まる広報活動にも注力した。 ・ 芸術祭 演劇の部実施事業「ぎふ演劇シーズン2023」において、事業と参加劇団のPR動画を作成。上述のキックオフイベントでの上映とYouTubeでの公開を行い周知を図った。 ・ 文芸祭において多くの応募を獲得するため、次年度は作品の受付をWeb上から行えるよう関係機関と調整し準備を進めている。 ・ 文化事業助成では、上半期に7団体の活動に助成を実施。コロナ禍からの活動を再開する団体や、新たに活動を始めたサークルからの申請と助成が目立つ。下半期には10団体の申請に対し、制度の趣旨に沿う事業であるか審議を行い、8団体への助成を決定した。 <p>女性センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度より「女性の活躍・活動促進事業」が男女共生・生涯学習推進課から労働雇用課に移行することになったが、引き続き連携を図るとともに、女性センターの事業受講者や来所者に対し積極的な事業のPRを行うとともに、SNSで広く発信するなど、事業の告知に努めた。 ・ 「女性と社会のつながりサポート事業」と「女性センター相談事業」と並行し、相談者から挙げられた困りごとをより専門的な支援先や関係機関に繋ぐため、職員全員が各関係機関の専門性を周知するよう体制を整えた。電話相談件数についても昨年度より13%増加しており、より一層女性の困りごとに対処できるよう、相談者に寄り添った事業を展開してきた。
<p>今後の取組み</p>	<p>生涯学習センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習拠点施設としての機能を生かしながら「個人の需要を充足する生涯学習」だけでなく「現代的課題に対応する生涯学習講座」を企画し事業の充実を図る。下半期においても、孤独・孤立対策や介護、リカレント教育といった、世間や生涯学習で注目されるテーマも含め、講座を企画する。 ・ 生涯学習・ボランティア活動に係わる相談及び活動支援において、コロナ禍の影響で活動が停滞している団体や個人の声に耳を傾け、活動の再開や継続の助けとなる情報の提供に努める。 ・ 生涯学習・ボランティア活動に係わる相談及び活動支援において、継続して受託している市民活動交流センターでの相談業務との情報共有をはじめ、多様な面で連携を深めることで、中間支援組織としての機能の拡充に努める。また、地域活動情報システム「まなバンク」を活用して、地域人材の活性化に努める。 ・ ボランティアコーディネーション力の資格を積極的に取得し、相談業務および活動支援の充実を図る。 ・ 地域づくり、まちづくりの推進役となる人材を育成するため、「市民講師養成講座」と「市民自主講座」、「パソコン指導者養成講座」などを実施し、市民がこれまで培ってきた知識や技術、能力を生かして活動する講師の養成と活躍機会の充実を図る。 ・ 障がいの有無に係わらない学びの場を提供するため、岐阜市障がい福祉課や特定非営利活動法人ぎふ難聴者協会等と協力し、手話通訳やパソコン要約筆記、音声認識アプリ、音声ガイドなどを取り入れた講座の充実を図る。 ・ 美術展では、4年ぶりにギャラリートークが開催され、コロナ以前の開催時と同等の内容を実施することとなる。展覧会の適正な運営はもとより、予算の縮減を踏まえた会場の構成や広報活動に伴う出品数・展示数・来場者数など数値の面での変化を精査し、次年度以降の改善内容の検討を進める。 ・ 昨年度の岐阜市芸術文化奨励賞受賞者による記念展示を11月に開催予定。同賞のPRと併せ、岐阜に在住する将来性のある芸術家を紹介し、市民の文化芸術への興味関心を高める機会の創出に取り組む。 ・ 令和6年度に国民文化祭が開催されることを踏まえ、市民文化祭(美術展、芸術祭、文芸祭)の関係者(出演団体、審査員など)と調整し、円滑な運営ができるよう準備を進める。また、独自に公演を行う、市芸術文化協会との連携を密に取り、サポートを進める。 <p>女性センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画拠点施設として、令和4年度に改定された「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に則り、男女共同参画社会の実現を目指した事業展開を図る。 ・ 「サード・プレイス」(第3の居場所)として、会話を楽しみ、心と身体がリラックスできる時間と空間(居場所)を提供する。また、女性センター窓口への来訪を促し、顔の見えるセンターを構築する。 ・ 女性センター専門相談や、あしんつながりサポート事業を通して見えてきた女性の困りごとに対しての支援ができるよう、健康問題や発達障がいなどに焦点をあてた講座を企画し、困りごとの解決に向けた内容の充実を図る。 ・ 様々な課題や困難を複合的に抱える女性を適切な機関につなげるために、関係機関とケース検討会を実施するなど連携を強化していく。

●所管課の意見

生涯学習センター

- ・現代的課題・地域課題の解決へ向けた講座や、地域づくり、まちづくりのための人材育成講座のほとんどが高い応募率であり、大変魅力のある企画内容であると評価できる。
- ・電力デマンドの設置や、効率的な空調機器の使用に努め、光熱水費の節約に努めている。
- ・施設の日常点検及び定期点検をしっかりと行っており、利用者の安全性やサービス向上のために努めている。
- ・女性センターへの迷惑行為・不当要求行為やトイレ立てこもり等に対して、警察と連携したリスク対応がとれている。

女性センター

- ・「わたしも輝く！女性エンパワーメント講座」では、相談業務を通して見えてきた現代的な女性の課題に焦点をあてテーマを選定し、相談機能と連携させて企画していることが評価できる。グループワークを取り入れ、3回のコースで実施することにより、受講者からは高い満足度を得ることができた。
- ・HPやSNSでの情報発信に力を入れ、広く講座や相談窓口の周知を図ることで、新規の講座受講者の獲得や、相談者を増やすことができ評価できる。
- ・「女性と社会のつながりサポート事業」と「女性センター相談事業」を並行して実施することで連携しながら、より専門的な支援先へ繋げることができたことは評価できる。複合的な相談に対応するため、研修会への参加や、適切な支援先や関係機関に繋ぐための体制づくりを行い、職員のスキルアップを図ることができた。今後も、様々な課題や困難を抱える女性に寄り添った支援ができるように、関係機関との連携強化に努めていけるよう期待する。

文化振興係

- ・文化振興業務は、市民及び文化芸術団体との協働により事業が進められており、上期は主に市民文化祭の開催に向けて準備をした。美術展覧会においては、新規事業として企画展を立ち上げ、展覧会に関わる作家の作品展示によって展覧会を新たな手法でPRしていることが評価できる。また、より興味、関心を持つ人の目に触れるようSNSを活用し情報発信をした。
- ・芸術祭の演劇部門では、キックオフイベント前からPRを行い、本番に向けて盛り上がりつつ準備を進めている点が評価できる。
- ・今後も効果的な情報発信を実施しながら、長い歴史のある市民文化祭をより多くの人に参加いただけるよう盛り上げていただきたい。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・全体的には様々な事業が行われており評価できる。今後は、世代間の交流を図るような事業の開発・実施が課題となると思う。
- ・情報発信は積極的にに行われているが、発信と合わせ、いかに受け手に情報を受け取ってもらうかも考える必要がある。
- ・講座のターゲットによっては、大学等での出前講座を行ったり、積極的に参加を呼びかけたりすることも検討してどうか。